

イクメン事業「おとうさんといっしょ」を実施しました！！

長瀬町児童虐待防止推進事業としてイクメン事業「おとうさんといっしょ」を多世代ふれ愛ベース長瀬で実施しました。

講師には、作業療法士^{おかのなると}岡野直人先生、理学療法士^{よしだてつま}吉田哲馬先生をお招きし、親子13組38名が参加しました。ミニ講話では「赤ちゃんが社会性を築く基盤であり、社会性はすべて遊びの中で学ぶ」など、さなざまなお話をいただきました。また、心と身体の発達やコミュニケーションについて「感覚統合」という医学的な視点で解説をいただき、親子の距離が縮まる触れ愛遊びをたくさん教えてもらいました。段ボールが遊びを広げてくれるとおしゃっていました。

参加したお父さん方は「子どもと遊ぶことの重要性が分かった」「家庭でもやっていきたい」「遊びの引き出しが増えた」など意見をたくさんいただきました。親子の輝く笑顔をたくさん見ることができ大盛況のうちに終了しました。
【2月21日】



ハンドソープを配布しました



町では、二度目の緊急事態宣言が延長されたことから、感染予防、感染拡大防止に細心の注意を払いながら、町内の事業所で日々大変苦勞されている医療、福祉、介護等の事業所等に対し、銀座ステファニー化粧品株式会社から寄贈された衛生用品（ハンドソープ）を配布しました。さらに、感染予防のための一助になれば幸いです。

みらくる長瀬チーム シェアリングサミット（報告会）が実施されました。

みらくる長瀬チームとは、『『みらいをつくる』観光共創イニシアティブ・長瀬チーム』の略で、昨年の11月から活動している長瀬町を盛り上げたい、自分たちの手で未来を創りたいと、地域の若手観光事業者・町地域おこし協力隊・町職員で構成されたチームです。今後は長瀬町で地域観光ラボとしての活動を計画しており、その報告と今後について、関係者と話し合いを行いました。

今回は「町の活性化環境整備」「ラボの拠点作り」「海外からの移住者促進」「長瀬映画祭」をテーマに数名ずつに分かれて話し合いました。

参加者はいきいきと活発に意見を交わし、最後には目に見えない繋がりが太くなったようでした。

【2月24日】

